

コスモ・バイオ (TYO: 3386)

研究用試薬、ライフサイエンス機器の提供で
生命科学の進歩に資する

◇2024年12月期1Q決算：増収減益だが想定線。

コスモ・バイオが2024年5月9日引け後に発表した2024年12月期1Q（1-3月）決算は増収減益だった。売上高は29.4億円（前年同期比4%増）、営業利益は3.0億円（同23%減）、経常利益2.9億円（同28%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は2.3億円（同12%減）である。

同社によれば、総じて想定通りの着地だった模様である。通期会社予想に対する進捗率は、売上高が30%、経常利益66%程度である。通期会社予想がそもそも増収減益であることに留意するとしても、進捗率という点では順当と言えるだろう。

柴山新社長の体制のもと、体制整備が進んでいることにも注目したい。

◇2024年12月期会社予想：変更なし。

2Q累計、および通期予想には今回変更はない。通期ドル円相場の想定は1米ドル150円である。

◇株価動向と今後の注目点：成長戦略の進展と低PBR対応に期待したい

株価は直近上昇しはじめている。これが本格的な上昇軌道に乗るために注目したい点は次のとおりである。

まず、ドル円相場の今後の動向（円安が止まるか）、そしてこれと関連して、2Q決算発表時点ないしそれ以降に通期予想に（上方）修正があるか。為替リスク管理手法が高度化するか。

次に、中期的な成長戦略で掲げている商社機能の強化・拡大、製造機能の育成・拡大、そして事業のグローバル化について具体的な案件が積み上がってくるか。この結果、構造的に為替リスクを縮小させながら売上高・利益の拡大を図る体制に移行する道筋が見えてくるか。

最後に、ROE改善に向けた中期的な事業戦略と、PBR1倍割れの解消見通しについて具体的な策がでてくるのか。

1Q決算アップデート

医薬品・医薬品卸

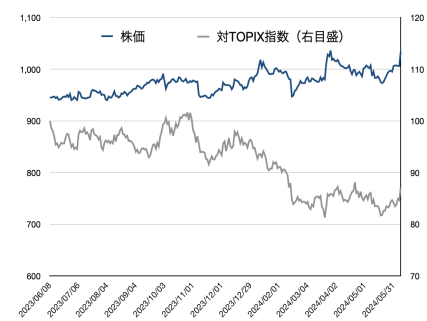
2024年6月27日

株価(6/26)

52週高値/安値	1,072/937 円
1日出来高(3ヶ月)	7.1 千株
時価総額	62.8 億円
企業価値	32.4 億円
PER(24/12予)	20.3 倍
PBR(23/12実)	0.71 倍
予想配当利回り(24/12)	2.88 %
ROE(23/12)	5.4 %
営業利益率(23/12)	5.6 %
ベータ (5年間)	0.61
発行済株式数	5.834 百万株
上場市場	東証スタンダード

1,039 円

株価パフォーマンス



%	1月	3月	12月
株価	3.0%	5.4%	9.4%
相対株価	2.7%	4.3%	-13.0%

注目点

「生命科学の進歩に資する」を目的に掲げるバイオ専門商社。ライフサイエンス研究用試薬の大手提供事業者の一角で、世界中の約600社のメーカーから1200万点に及ぶアイテムを提供。近年は製造機能を強化、自社受託サービス、独自の製造販売事業に進出。この収益寄与および資本効率の改善に期待がかかる。

コスモ・バイオはOmega Investment Co., Ltd. の顧客であり、同社の依頼を受けてレポートを作成しています。詳しくは、最終ページのディスクレームを参照ください。

◇2024年12月期 1Q決算：増収減益だが想定線。

コスモ・バイオが2024年5月9日引け後に発表した2024年12月期1Q（1-3月）決算は増収減益だった。売上高は29.4億円（前年同期比4%増）、営業利益は3.0億円（同23%減）、経常利益2.9億円（同28%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は2.3億円（同12%減）である。

売上高に関しては民間の需要が堅調だった模様である。営業利益率は10.3%、前年同期比3.7ポイント低下となった。これはドル円相場が1米ドル146円（前年同期比9%円安）になり仕入れ原価が上昇したこと、配送費が上昇したことが主因である。この結果、増収ながらも減益になっている。

このように、1Qは同社が需要はしっかり取り込むことができている点が評価ポイントである。また会社によれば想定通りの着地だったとのことで、これも評価ポイントになろう。通期会社予想に対する進捗率は、売上高が30%、経常利益66%程度で順当と言える。

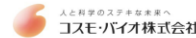
ただし、収益力の根本的な改善のためには、製造部門の強化による付加価値の引き上げ、労働生産性の向上、および輸入偏重型の事業構造から輸入と輸出のバランスが取れた事業構造へ転換が必要であることをあらためて印象付けた決算とも言える。

業績以外の注目点として、柴山新社長の体制のもと、中期計画推進のために組織整備が進んでいることを指摘したい。具体的には、2024年4月1日付けで、人事部、マーケティング部、製品法務部および製造技術部を新設し、また、札幌事業部を廃しその機能を主として事業開発部および製造技術部へ移管した。その狙いは輸出を伸ばす体制を整え、自社製品の開発の効率化を進めることにあるようだ。先に述べた同社の事業構造上の経営課題に対して本腰で取り組む姿勢ととらえたい。

なお、受託サービスマッチングサイト「Scientist3」（サイエンティストキューブ）は当四半期においては検証作業を綿密に進めているとのことである。

参考として、本年度の重点施策を示しておく。

3ヶ年計画 – 2024年度の重点取り組み –



- 自社ブランドを含めた全体のマーケティング強化
 - 社内、グループ間の役割・組織体制の見直し
 - 会社全体の製品販売戦略の立案と、それに基づいた製品開発及び顧客への製品情報提供
 - 海外販売拡大のための商品力強化
- 事業拡大を見据えた積極的な採用活動
 - 人員強化
 - 新規事業分野の専門人材を積極採用
- 受託サービスマッチングサイト『Scientist³』の提供開始
 - より多くの種類の受託サービスを、洗練されたシステムで提供
- 原料供給事業計画
 - 鶏舎の拡張 等

出所：同社資料

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	当期利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	DPS (円)
2019/12	7,590	4.5	405	23.5	470	16.5	237	-8.6	40.14	14.00
2020/12	8,092	6.6	752	85.6	817	73.7	674	183.2	113.70	34.00
2021/12	9,231	14.1	1,048	39.4	1,099	34.5	737	9.4	126.94	36.00
2022/12	9,553	3.5	816	-22.2	790	-28.1	517	-29.8	89.13	36.00
2023/12	9,340	-2.2	519	-36.3	653	-17.4	442	-14.4	75.97	30.00
2024/12 (会予)	9,800	4.9	390	-25.0	450	-31.1	310	-30.0	53.12	30.00
2023/12 1Q	2,828	-7.2	400	-30.7	416	-26.2	264	-17.8	45.46	0.00
2024/12 1Q	2,943	4.1	305	-23.8	299	-28.1	230	-12.6	39.56	0.00

◇2024年12月期会社予想：変更なし。

2Q累計、および通期予想には今回変更はない。通期ドル円相場の想定は1米ドル150円である。

◇株価動向と今後の注目点：成長戦略の進展と低PBR対応に期待したい

同社の株価は、過去一年間ジリ高基調にあるもののTOPIXに対してはアンダーパフォームしてきた。ただし直近株価は上昇しており、この背景にはPBRが0.71倍と割安であること、先に見た様に通期計画に対して1Qの利益の進捗率が高いこと、および認知症の商品を取り扱う認知症関連株として注目度が上昇していることがあるようだ。

このように足元の株価は、復調のきっかけを得たとも言えるが、本格的な回復には次の諸点に注目したい。

まず、ドル円相場の今後の動向（円安が止まるか）、そしてこれと関連して、2Q決算発表時点ないしそれ以降に通期予想に（上方）修正があるか。為替リスク管理手法が高度化するか。

次に、中期的な成長戦略で掲げている商社機能の強化・拡大、製造機能の育成・拡大、そして事業のグローバル化について具体的な案件が積み上がってくるか。この結果、構造的に為替リスクを縮小させながら売上高・利益の拡大を図る体制に移行する道筋が見えてくるか。

最後に、ROE改善に向けた中期的な事業戦略と、PBR1倍割れの解消見通しについて具体的な策がでてくるのか。

柴山社長はROEとPBRの低さに関して十分な課題認識を持っていると見られる。今後のニュースフローに株式市場の関心が高まっていくと期待したい。



財務データ

金額単位：百万円	2012/12	2013/12	2014/12	2015/12	2016/12	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12 (会社予想)
[損益計算書]													
売上高	7,241	7,050	7,235	7,357	7,427	7,068	7,261	7,590	8,092	9,231	9,553	9,340	9,800
前期比	0.7%	-2.6%	2.6%	1.7%	1.0%	-4.8%	2.7%	4.5%	6.6%	14.1%	3.5%	-2.2%	4.9%
売上原価	4,057	4,429	4,811	4,976	4,655	4,535	4,602	4,710	4,940	5,572	6,112	6,090	
売上総利益	3,184	2,620	2,424	2,380	2,772	2,532	2,659	2,879	3,152	3,658	3,440	3,249	
販売費及び一般管理費	2,386	2,349	2,261	2,180	2,257	2,339	2,330	2,474	2,399	2,609	2,624	2,729	
営業利益	798	271	162	200	514	193	328	405	752	1,048	816	519	390
前期比	-10.4%	-66.0%	-40.2%	23.5%	157.0%	-62.5%	69.9%	23.5%	85.7%	39.4%	-22.2%	-36.3%	-25.0%
営業利益率	11.0%	3.8%	2.2%	2.7%	6.9%	2.7%	4.5%	5.3%	9.3%	11.4%	8.5%	5.6%	4.0%
営業外収益	46	177	128	175	21	208	89	72	71	71	57	136	
営業外費用	43	3	5	2	51	3	13	7	6	20	83	2	
経常利益	801	444	285	373	483	397	403	470	817	1,099	790	653	450
特別利益	3	9	46	34	55	8			190				
特別損失	30	2	1	0	82	5		81					
税引前当期純利益	774	451	330	407	456	400	403	388	1,008	1,099	790	653	
法人税等合計	336	137	131	158	180	148	126	142	307	331	238	191	
親会社株主に帰属する当期純利益	411	313	201	230	254	237	260	237	674	737	517	442	310
前期比	-10.3%	-23.8%	-35.8%	14.4%	10.4%	-6.7%	9.7%	-8.8%	184.4%	9.3%	-29.9%	-14.4%	-30.0%
当期純利益率	5.7%	4.4%	2.8%	3.1%	3.4%	3.4%	3.6%	3.1%	8.3%	8.0%	5.4%	4.7%	3.2%
[貸借対照表]													
流動資産	5,413	5,527	5,234	5,266	5,495	5,143	5,668	5,927	6,756	7,310	7,136	7,102	
現金同等物及び短期性有価証券	2,143	2,036	1,482	1,498	1,948	1,483	2,268	2,516	3,259	3,555	3,036	3,025	
固定資産	1,541	2,750	2,927	2,523	2,438	2,982	2,832	2,962	2,883	2,761	3,176	3,770	
有形固定資産	178	185	213	227	319	690	636	695	636	599	577	572	
投資その他の資産	1,201	2,456	2,613	2,071	1,842	2,041	1,943	2,068	2,081	1,979	2,428	3,042	
資産合計	6,955	8,277	8,161	7,790	7,934	8,126	8,501	8,890	9,640	10,072	10,313	10,872	
流動負債	916	818	1,130	1,017	916	799	945	987	1,226	1,093	1,038	1,123	
短期借入金	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	
固定負債	317	660	497	394	436	488	502	581	552	658	656	722	
負債合計	1,234	1,479	1,628	1,412	1,352	1,288	1,448	1,568	1,779	1,752	1,695	1,846	
純資産合計	5,720	6,797	6,532	6,378	6,581	6,838	7,053	7,321	7,861	8,319	8,617	9,026	
株主資本合計	5,230	6,311	6,050	5,951	6,135	6,381	6,581	6,843	7,358	7,787	8,052	8,443	
資本金	918	918	918	918	918	918	918	918	918	918	918	918	
資本剰余金	1,221	1,221	1,221	1,251	1,251	1,251	1,251	1,251	1,251	1,258	1,260	1,261	
利益剰余金	3,119	3,314	3,397	3,521	3,680	3,812	4,026	4,181	4,761	5,274	5,560	5,805	
自己株式	-67	-67	-67	-67	-67	-67	-67	-67	-67	-239	-216	-194	
評価・為替差額	37	924	579	327	352	466	451	558	494	574	530	654	
負債純資産合計	6,955	8,277	8,161	7,790	7,934	8,126	8,501	8,890	9,640	10,072	10,313	10,872	
(株主資本比率)	75.2%	76.2%	74.1%	76.4%	77.3%	78.5%	77.4%	77.0%	76.3%	77.3%	78.1%	77.7%	
[キャッシュ・フロー計算書]													
営業活動によるキャッシュ・フロー	347	126	297	129	573	89	908	549	803	648	284	736	
投資活動によるキャッシュ・フロー	-167	-99	-227	-263	99	-235	-185	-115	42	-145	-291	-758	
財務活動によるキャッシュ・フロー	-126	-126	-122	-151	-107	-109	-85	-85	-97	-420	-236	-201	
現金及び現金同等物の増減額	61	-97	-52	-285	549	-264	684	348	743	95	-218	-210	
現金及び現金同等物の期首残高	1,471	1,532	1,435	1,383	1,098	1,648	1,383	2,068	2,416	3,159	3,255	3,036	
現金及び現金同等物の期末残高	1,532	1,435	1,383	1,098	1,648	1,383	2,068	2,416	3,159	3,255	3,036	2,826	
フリーキャッシュフロー	180	27	70	-134	672	-146	723	434	845	503	-7	-22	



General disclaimer and copyright

本レポートは当該企業への取材や決算資料等を元に作成・表示したのですが、その内容及びデータの正確性、完全性、信憑性を保証するものではありません。本レポートは、情報提供のみを目的としており、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。オメガインベストメントは、本レポートの使用により発生した結果について一切の責任を負うものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への取材を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はオメガインベストメントの調査によるものです。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はオメガインベストメントに帰属します。配布、譲渡、複製、及び転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。